【保存版】

RESERVOIR HAZARD MAP OF GOTEMBA CITY

# 御殿場市ため池ハザードマップ

## 東山湖
higashiyamako

## ため池ハザードマップとは

一定の条件を想定して、ため池が決壊した場合の被害を予測し、被害範囲を地図に示したものです。

全国のため池の多くは老朽化が進み、近年、局地的な大雨や大規模な地震などによる被害が各地で発生しています。また、過疎化や高齢化が進み、ため池の適切な管理や、緊急時の情報伝達が的確に行われない懸念が生じています。

ため池が決壊する恐れのある場合、または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するための参考資料として、「ため池ハザードマップ」を作成する必要があります。

### ハザードマップを作成すると・・・

**日頃の防災意識を高めることができます**

あらかじめ避難先を家族と話し合い、ため池決壊がおこりうることを、頭の隅においておくことで、被害を防ぐことができます。

**地域が抱える危険を、みんなで考えることができます**

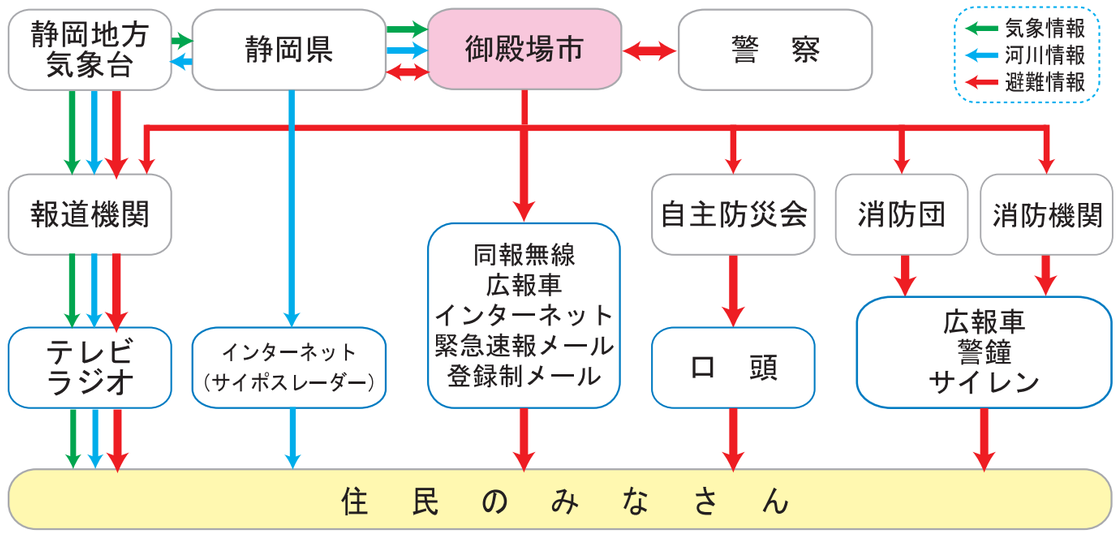
地域の防災対策の基礎資料となります。また、となり近所で助け合うことができます。

**災害が起きたときに、すばやく的確な避難ができます**

単に早く避難すればよいとは限りません。状況によって、避難しないほうがよい場合もあります。

## 避難情報に注意しましょう

避難情報が発令された場合、さまざまな経路で住民のみなさんに伝えられます。複数の情報源から正しい情報を得るようにしましょう。




## 状況に応じた避難とは

想定される浸水深によって、避難について注意すべきことが異なります。マップをよく見て、避難場所や避難方法を考えましょう。

### ため池が決壊したとき

**屋外にいたら** ➡ マップの浸水範囲外に避難しましょう。
（地震後すぐ決壊するとは限らないので、安全が確認されるまでは十分注意しましょう。）

**室内にいたら** ➡ 自宅にとどまりましょう。
（むやみな移動はかえって危険です。）

**避難場所へは** ➡ 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、河川の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

### 基本的な考え方

避難のために外出する方が、むしろ危険になっている場合もあります。
市から避難情報が発令された場合、避難所へ避難するか、屋内の比較的安全な場所（２階等）にとどまるなど、状況に応じて自ら判断し、命を守るための行動をとることが基本です。

| 想定浸水深 | 避難の流れ |
|---|---|
| ５m以上の浸水 | 浸水しない場所に移動（避難所、道路、空き地など）<br>●事前に話し合った避難先へ移動を！<br>●動きやすい服装で！<br>●お年寄りなどの避難に協力しよう |
| ２～５mまでの浸水<br>２階軒下までつかる程度 | |
| １～２mまでの浸水<br>１階軒下までつかる程度 | 自宅の２階や近くの高い建物に移動<br>●非常持出品等を持って上がる |
| 0.5m～１mまでの浸水<br>大人の腰までつかる程度 | |
| 0.5m未満の浸水<br>大人のひざまでつかる程度 | 自宅にとどまる |

## 避難情報の種類と取るべき行動

避難情報には、緊急度に応じて３つの種類があります。どのような違いがあるか確認しておきましょう。

### 避難準備・高齢者等避難開始

- 避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合
- 避難するのに時間がかかる高齢者などの要配慮者やその支援者は避難を始めます
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を始めます

### 避難勧告

- 災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合
- 速やかに避難場所へ避難します
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難します

### 避難指示（緊急）

- 災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合
- まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難します
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難します


御殿場市産業スポーツ部農林整備課
〒412-8601　静岡県御殿場市萩原 483 番地　　電話 0550-82-4621